



Cisco IW-PWRADPT-MFIT シリーズ電源設置ガイド

Cisco IW-PWRADPT-MFIT シリーズ 電源設置ガイド 2

製品概要 2

技術仕様 5

機械仕様 6

取り付け手順 7

規制情報 10

改訂：2025年1月29日

Cisco IW-PWRADPT-MFIT シリーズ 電源設置ガイド

このドキュメントでは、Cisco IW-PWRADPT-MFIT シリーズ電源（このドキュメントでは電源と呼びます）の詳細と、このユニットの取り付け手順について説明します。

製品概要

Cisco 電源モデル IW-PWRADPT-MFIT4P= および IW-PWRADPT-MFITIN= は、48 V の DC 電圧出力を備えた、屋外用単相 AC/DC、60 W 出力の幅広い温度範囲の外部電源です。電源装置は、90 ~ 264 VAC および 135 ~ 370 VDC で動作します。

IW-PWRADPT-MFITIN= 電源アダプタは、インド市場向けに設計されていて、インドの規制コンプライアンス要件を満たしています。

図 1: IW-PWRADPT-MFIT シリーズ 電源モジュール



電源アダプターの開梱

電源アダプターには次の品目が同梱されています。

表 1: IW-PWRADPT-MFIT4P= に含まれているパッケージの内容

電源アダプター
AC 電源コード、電源アダプタに統合、終端処理なし

DC 電源コード、電源アダプタに統合、micro-fit コネクタで終端処理

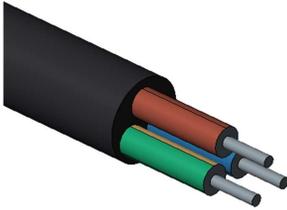
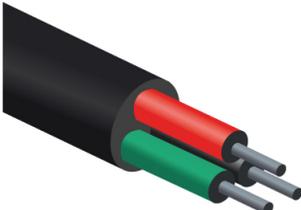
表 2: IW-PWRADPT-MFITIN= に含まれているパッケージの内容

電源アダプター
AC 電源コード、電源アダプタに統合、終端処理なし
DC 電源コード、電源アダプタに統合、micro-fit コネクタで終端処理
8MM ナイロン製座金 (4 個)
SST 平座金 (4 個)
SST ばね座金 (4 個)
6-32 ナット (4 個)

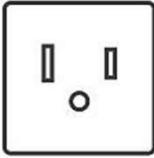
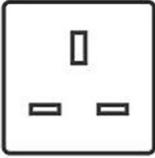
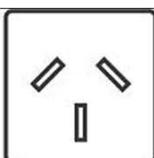
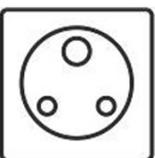
部品の欠品または損傷が見つかった場合、シスコの担当者またはリセラーまでお問い合わせください。

AC ケーブルアセンブリ

AC ケーブルの対応するフェーズの線を電源システムに接続します。

フェーズ	IW-PWRADPT-MFIT4P= の配線の色	IW-PWRADPT-MFITIN= の配線の色
		
L	茶	赤
N	青	黒
E	緑/黄	緑

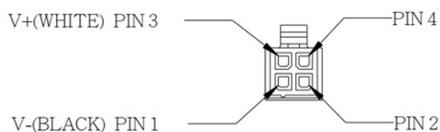
AC プラグに接続する場合は、国ごとに異なるタイプのプラグを使用する必要があります。次の表は参考資料です。

プラグタイプ	国	プラグタイプ	国
	米国、台湾、日本、カナダ、メキシコ		英国、シンガポール
	ヨーロッパ、モロッコ		韓国、ロシア
	中国、オーストラリア、アルゼンチン		インド、南アフリカ

DC ケーブルアセンブリ

電源アダプタは、2つの端子が使用されている Molex Microfit 3.0 レセプタクルで事前に終端処理されています。残りの端子位置は使用されていません。次の表に、ピン割り当てを示します。出力ケーブルの長さは1m +/-5%にする必要があります。

図 2: 出カコネクタ : Molex Microfit

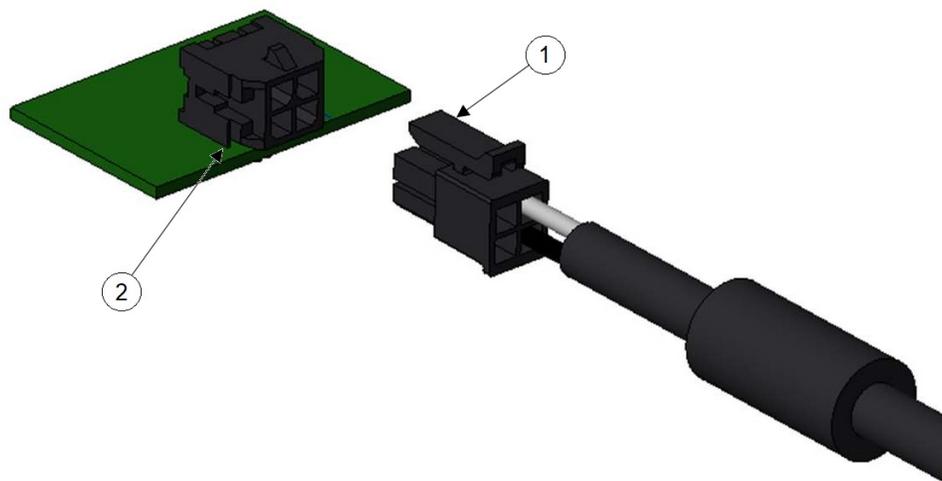


Microfit 3.0 レセプタクルの正面図

Molex Microfit ピン	割り当て
ピン 1	黒 (- マイナス端子)
ピン 2	割り当てなし

Molex Microfit ピン	割り当て
ピン3	白 (+プラス端子)
ピン4	割り当てなし

DC ケーブルアセンブリの場合は、システムのヘッダーにソケットを挿入します。次の図は参考用です。



1レセプタクル Molex Microfit 3.0 430250400、圧着端子、メス、430300040	2ヘッダー/プラグ：4ピン Microfit 3.0 互換プラグ
---	----------------------------------

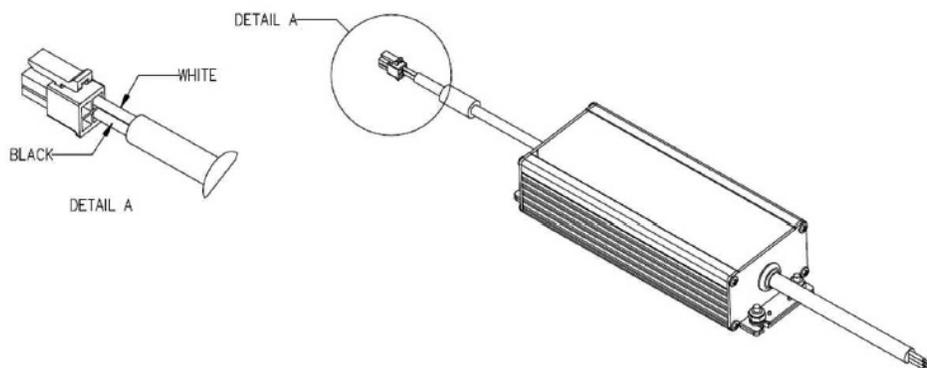
技術仕様

次の表に、電源の仕様を一覧表示します。

表 3: 技術仕様

仕様	IW-PWRADPT-MFIT4P=	IW-PWRADPT-MFITIN=
入力電圧範囲および周波数	AC 入力：100-240 V、50-60 Hz（公称） DC 入力：35 ~ 370 VDC	
出力電圧および電流	48 VDC、1.25A、60 W（最大）	
物理仕様	寸法（幅 X 高さ X 長さ）：46.5 mm X 62 mm X 171 mm 重量：685g +/-30g	
動作温度	-40°C ~ +65°C、日射負荷あり、静止空気状態	

図 5: Molexハウジングのピンの割り当て



取り付け手順



警告 すべての IW-PWRADPT-MFIT4P=バージョン (V02 より前) には、絶縁取り付けスペーサがありませんでした。これらの電源アダプタを取り付けるときは注意を払い、シャーシを導電性の取り付け面から絶縁する必要があります。

取り付けブラケット AIR-ACCPMK3700= または AIR-ACCPMK3700-2= を使用して電源アダプタを支柱上の IW9167EH アクセスポイントに取り付けることができます。取り付け手順の詳細については、『[Cisco Catalyst IW9167E Heavy Duty Access Point Hardware Installation Guide](#)』の「[Attaching a Power Adapter](#)」を参照してください。

装置の右および左に取り付けタブを使用して、ほとんどの垂直な面または水平な面に電源アダプターを取り付けることができます。詳細については、[ネジを使用したアダプタの取り付け \(7 ページ\)](#) および [6-32 ネジ山付き支柱を使用したアダプタの取り付け \(9 ページ\)](#) を参照してください。

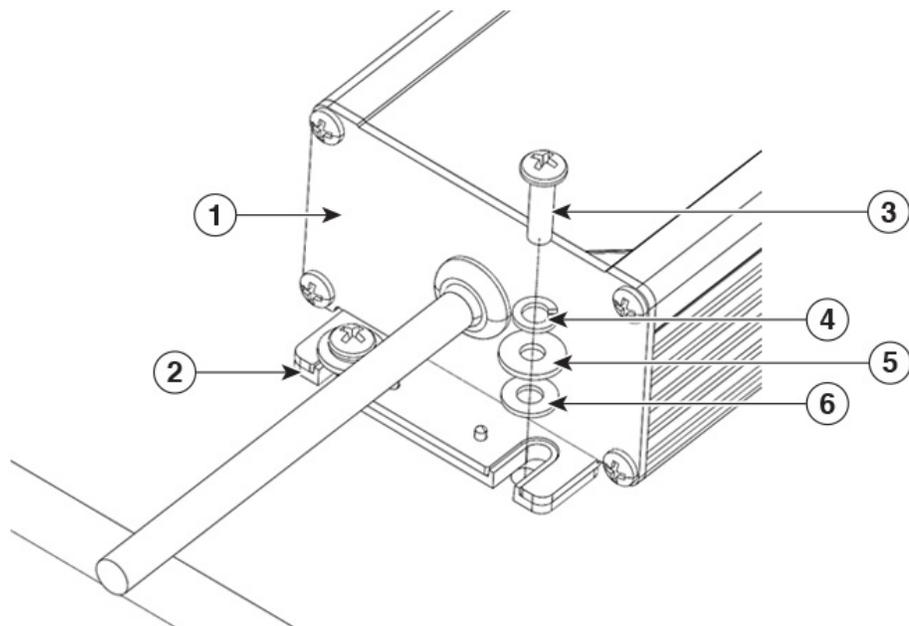


(注) デバイスはアース付コンセントに接続する必要があります。

ネジを使用したアダプタの取り付け

取り付けタブを使用して電源アダプタを垂直または水平面にネジで取り付けるには、次の手順に従ってください。

図 6: 分解図



1 電源モジュール	4ばね座金 (SST)
2電源アダプタに統合された絶縁体スペーサ	5平座金 (SST)
3φ6-32、M3.5 または同等のサイズの金具。付属しない	6ナイロン製絶縁座金

手順

ステップ 1 電源アダプタのスロットまたは詳細図の寸法を使用して、取り付け面のタイプと取り付けに使用する金具に応じて、ドリルで穴またはネジ穴を開けます。

金具は、20 ポンドの引張力を支える必要があります。

ステップ 2 印を付けた場所ごとに穴を開けます。

ステップ 3 ネジに座金を取り付けます。

図 6: 分解図 (8 ページ) に示されているように、ばね座金、平座金、およびナイロン製絶縁座金をネジに取り付けます。ナイロン製絶縁座金は、電源アダプタの取り付けフランジに置く必要があります。

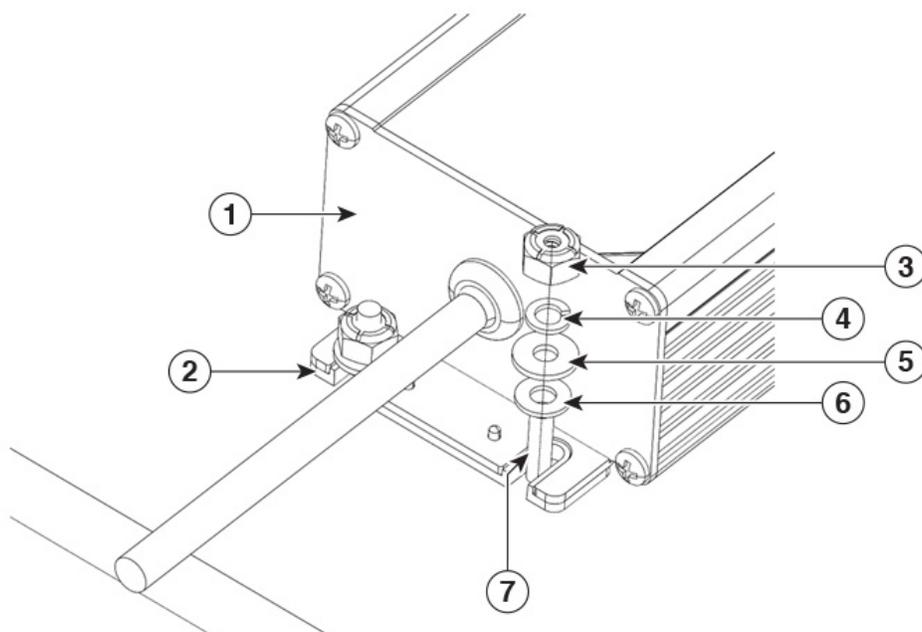
(注)

電源アダプターがしっかり固定されていない場合は、十分固定されるまで微調整します。

6-32 ネジ山付き支柱を使用したアダプタの取り付け

取り付けタブを使用して電源アダプタを垂直または水平面に 6-32 ネジ山付き支柱で取り付けるには、次の手順に従ってください。

図 7: 分解図



1 電源モジュール	5 平座金 (SST)
2 電源アダプタに統合された絶縁体スペーサ	6 ナイロン製絶縁座金
3 6-32 ナット	7 6-32UNC-2A ネジ山付き支柱
4 ばね座金 (SST)	

始める前に



(注) 取り付けブラケット AIR-ACCPMK3700= または AIR-ACCPMK3700-2= に電源アダプタを取り付ける場合は、これらの支柱がこれらのブラケットに統合されているため、ステップ 1～3 を飛ばすことができます。

手順

ステップ1 電源アダプタの取り付けタブの穴をテンプレートとして使用して、取り付け面の裏側からの6-32ネジまたはネジ山付きスタンドオフ用の穴を開ける場所に印を付けます。

ステップ2 印を付けた場所ごとに穴を開けます。

ステップ3 #6-32 UNC-2A の支柱またはネジを、壁面または表面の裏側から取り付けタブの穴に挿入します。

ステップ4 支柱に座金を取り付けます。

図7: 分解図 (9 ページ) に示されているように、ばね座金、平座金、およびナイロン製絶縁座金を支柱に取り付けます。ナイロン製絶縁座金は、電源アダプタの取り付けフランジに置く必要があります。

9 ~ 11 ポンドインチのトルクでナットを表面に締め付けます。

(注)

電源アダプターがしっかり固定されていない場合は、十分固定されるまで微調整します。

規制情報

次の情報は FCC クラス B 準拠装置に関する記述です。

このマニュアルに記載された装置は、無線周波エネルギーを生成および放射する可能性があります。シスコの指示する設置手順に従って設置されなかった場合、ラジオ、テレビによる受信障害が発生することがあります。この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの仕様は、住宅地で使用したときに、このような干渉を防止する適切な保護を規定したものです。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

シスコの書面による許可なしに装置を改造すると、装置がクラス A またはクラス B のデジタル装置に対する FCC 要件に準拠しなくなることがあります。その場合、装置を使用するユーザーの権利が FCC 規制により制限されることがあり、ラジオまたはテレビの通信に対するいかなる干渉もユーザー側の負担で矯正するように求められることがあります。

装置の電源を切ることによって、この装置が干渉の原因であるかどうかを判断できます。干渉がなくなれば、シスコの装置またはその周辺機器が干渉の原因になっていると考えられます。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 干渉がなくなるまで、テレビまたはラジオのアンテナの向きを変えます。
- テレビまたはラジオの左右どちらかの側に装置を移動させます。
- テレビまたはラジオから離れたところに装置を移動させます。
- テレビまたはラジオとは別の回路にあるコンセントに装置を接続します。（装置とテレビまたはラジオがそれぞれ別個のブレーカーまたはヒューズで制御されるようにします）。

シスコでは、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うこととなります。

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。